

第74号 2020年 6月 1日

発行所／神山復生病院 〒412-0033御殿場市神山109 (Tel) 0550-87-0004 (Fax) 0550-87-5360
(E-mail) info@fukusei.jp (ホームページ) <http://www.fukusei.jp/>



《 理 念 》

神山復生病院は キリストの愛に基づいて 病める人も健やかな人も 神によって創られた人間として
喜びも苦しみも共にしながら 一人ひとりの命を大切に 希望をもって医療と福祉に献身します

《 基本方針 》

- 1 患者様本位の医療
患者様一人ひとりの生活を重視し、地域のニーズに応えるサービスを提供します
- 2 職員の人材育成
優れた人材を育成するため、研修を充実し、専門・認定資格の取得を支援します
- 3 経営の安定化
病床利用率を高め、病院の経営状態を安定化します
- 4 地域包括ケアシステム構築への貢献
復生会全体で連携を密にし、在宅医療・福祉に貢献します



ホスピス、緩和ケア外来、マリアの家、そして訪問看護

診療部長 平田敦子

前回在宅療養についてかえでの森に寄稿させていただいてから、2年が経ちました。その間に変わったことはと言えば、緩和ケア外来の患者様が増えたこと、訪問診療や往診が増えたことです。新型コロナウイルスの影響で入院時の面会時間が制限され、全く面会できなくなってしまった病院や施設が増えたので、在宅療養の良さが見直されてきたのかもしれませんが。

がんの患者様が通院できる場合は緩和ケア外来を受診していただきますが、通院が困難になった場合は住み慣れた自宅で最後まで過ごせるように、訪問看護ステーションと連携し訪問診療、往診を行っています。自宅で症状緩和が不十分な場合はホスピスに入院していただくこともあります。それ以外に御家族が介護に疲れてしまった場合等に、1～2週間患者様に入院していただくレスパイト入院という仕組みもあります。御自宅と看護小規模多機能型居宅介護事業所「マリアの家」の利用を組み合わせ、できるだけ自宅で過ごすことも考えられます。もしも、がんでこれからの過ごし方を考えたいという患者様、御家族がおられれば、医療連携室もしくは外来看護師までお問合せください。患者様、御家族に寄り添い支えていけるよう、これからも職員一同で努力してまいります。



成果・研究発表会



「身体拘束廃止取り組みの実態」について

マリアの家 栗田和弥

小規模多機能型居宅介護事業所マリアの家として昨年に「身体拘束廃止推進員研修」をおよそ4ヶ月かけて研修してきました。研修には200を超える病院や施設が参加をして講習会などを行い、最後には各々の職場で行った「身体拘束廃止取り組みの実態」について実践報告、成果と課題を発表して終了となりました。他の事業所の実際の様子を聴く機会というのは滅多にあるものではなく、普段知り得ない色々な話しが聞けた事や大勢で話し合いをしたおかげで、マリアの家でも実践できそうな事が見つけられるという貴重な体験でした。



「囲わないで・・・」～安易にしてしまう夜間の4点柵解除に向けて～

介護医療院 小澤 一代



平成30年4月より、介護保険施設となりました。それに伴い身体拘束ゼロを目指していますが、安易に行われてしまう夜間の4点柵が、なかなか減らない現状でした。そこで、転倒防止という理由により、身体拘束廃止とは逆の現状を何とか改善していきたい、という思いからこの課題に取り組むこととしました。課題や改善点はまだまだありますが、フィジカルロックをすることなく、安心・安全に過ごせる環境を利用者様目線で考え、創意工夫をし、職員みんなで身体拘束ゼロ宣言を目指して努力していきたいと思います。



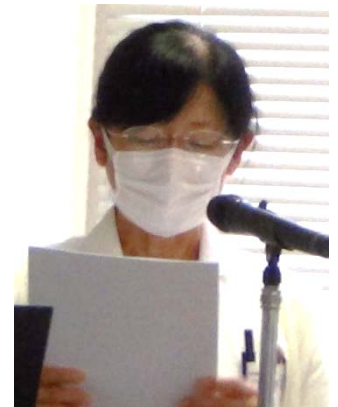
ボランティアが活動を継続できる理由は何か

ホスピス病棟 杉山美智江 井林未記

長年に渡り当院で活動を続けてくださっているボランティアに焦点を当てた。研究を通し、予想よりも多くの種類の活動内容と、丁寧な関りを持ってあげることが分かった。ボランティア活動に参加している方々は、自己向上心と患者との関り・皆の笑顔・感謝の言葉等により高いモチベーションを維持し続けている。ボランティアをする側・受ける側双方が喜びを感じることも活動の継続に繋がっていると考えた。

私たちは忙しいの一言で日々の業務に追われがちだが、一緒に活動に参加する努力もしていきたいと考えさせられた。

又、今回のコロナ感染症でボランティアの力を借りられず、本当に大きな力であることも痛感している。一日も早く終息し、ボランティアの活動に感謝の言葉を伝えたい思いでいっぱいである。



外来看護～多職種連携の実際～

外来 仲道由美子

少子高齢多死社会において地域包括ケアシステムの構築を国は進めている。当法人も、地域のニーズに応えられるよう、在宅事業を開設し4年目を迎えることができた。外来は、院内・院外との連携業務を多数行っている。

実績をデータとしてまとめ、その中で見えてきた課題についても皆さんへ報告することができた。



事務所仕事改善計画～皆が働きやすい環境作り～

事務部 長田愛夏

事務所内で、疑問に思った事や改善したほうが良いと思う事を話し合い、働きやすい職場環境になるよう取り組んでいます。そのひとつとして、カルテの保管方法を変更し、無駄な業務をなくし、仕事の効率化につながりました。また、パテーション・机のレイアウトを変更し、窓口対応をしやすいようにしました。今年から事務ミーティングで返戻と減点の内容を話し合い、入力ミスがなくなるよう取り組んでいます。これからも、皆で改善点を見つけ事務所の仕事改善を心がけていきます。



杉山看護部長



質問や労いの言葉も聞かれました



シスター徳永から総評



「小規模多機能型居宅介護事業所」から 「看護小規模多機能型居宅介護事業所」へ

『マリアの家』大石美幸

平成29年4月に「小規模多機能型居宅介護事業所」を開設しました。そして、今年度より「看護小規模多機能型居宅介護事業所」へと移行する事になりました。小規模多機能では、利用者様が住み慣れた自宅でできる限り自立した日常生活を送ることができる様、「通い」を中心として、短期の「宿泊」や利用者様の自宅へ「訪問介護」を提供してきました。しかし、看護小規模多機能では、「訪問介護」に加えて、看護師による「訪問看護」も組み合わせる事ができ、医療ニーズの高い利用者様の状況に応じたサービスの組み合わせにより、地域における多様な療養支援を行うことが可能となります。今までは、要支援の方の利用ができましたが、看護小規模多機能では要介護の方からの利用となります。がん末期の看取り期・病状不安定期における在宅生活の継続支援、家族へのレスパイトケア、相談対応による不安の軽減、退院直後の在宅療養生活へのスムーズな移行支援を行っていきたいと考えています。今後共、地域の皆様のお役に立てるような、事業所を目指して職員一同頑張っていきたいと思っています。



今回のおすすめ



【とがりベーカリー】

長泉町下土狩 1286-2 武藤ビル 1F
(下土狩駅から徒歩1分)

今回、紹介するのは下土狩駅にある「とがりベーカリー」さんです。天然酵母で素材にこだわったパン屋さんでベーグル商品が豊富なお店です。おすすめは「あんこクリームチーズ」です。こちらのお店は早い時には昼過ぎに完売してしまうこともあり、売り切れ次第閉店してしまいます。ぜひ行ってみて下さい。

(紹介者 外来 飯塚みほ)

外 来 担 当 表

心療内科、緩和ケア外来は予約制



	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午 前	内科(平田) 心療内科(飛澤)	内科(平田)	内科 (平田・江藤)	内科 (平田・江藤)	内科(江藤) 心療内科(飛澤)	内科 (第2・5 岡部) (第1・3・4 中尾) 心療内科(飛澤) 皮膚科	休 診
午 後	休 診	休 診	休 診	緩和ケア外来 (平田)	休 診	休 診	

※特定健診は7月から実施予定です。

皮膚科外来予定表

6 / 6	診察日	太田有史医師
6 / 13	診察日	松田真佑香医師
6 / 20	診察日	太田真由美医師
6 / 27	診察日	石地尚興医師



春の訪問者

『マリアの家』にツバメが来ました。珍しい訪問者に入所者さんや職員、「春から縁起がいい」と喜んでいました。

ツバメは穀物は食べず害虫を食べることから益鳥として古から大切にされ、出入りが多いことから商売繁盛の印ともなっていたり、ツバメの巣がある家は安全との言い伝えもあり、縁起がいいと言われています。

いい兆しです。これからも『マリアの家』が安全で利用者さんに喜ばれる場所であってほしいです。



高いところで室内を見渡していました。置き土産もしっかりとありました…

お知らせ

記念館見学再開 について

コロナウィルス感染防止のため閉館していた復生記念館の見学を6月1日(月)より再開します。

当面の間、**少人数で県内在住の方のみの見学**とさせていただきます。**見学の際は事前にご予約をお願いいたします。**

お問い合わせ
復生記念館別館
TEL/FAX 0550-87-3509



編集 後記

新型コロナウイルスの影響で外出を控えていた方も多いと思いますが、いかがお過ごしでしょうか？
私は、久しぶりにジグソーパズルをして過ごしていました。子供達よりも親が夢中に・・・
これから梅雨に入りますが、家でジグソーパズルするのも楽しいですよ。

次号もお楽しみに～



ゆ